

# 山梨青年会議所設立趣意書

山梨県における政治経済の中心地として古くから栄え由緒ある史跡や歴史の物語る文教の街わが山梨市にこのたび青年会議所（JC）が設立されるはこびとなりました。

当市には過去において幾度か設立の機運がありましたが、いまだに実することなく今日を迎えました、県下には目下五つの青年会議所が作られ、各地で活発な活動を展開しております。地域にあって時代を負う若い仲間が広い視野で現在の社会情勢を見ることが今一番必要とされていることです。地域の発展は実に我々若い者たちに託されております。

今般、甲府青年会議所の指導の下に当市を中心に在住する青年有志を中心に設立のための努力が六月から計画され、検討の末ここに設立の運びとなりました。

いうまでもなく今日我々をとりまく社会はかつてない激しい変化と発展を続けています。この激動する社会は我々青年に常に新鮮さと、一段と高度な研究、団結を求めてきております。東京を中心とする首都圏も中央高速道の開通により接近し、中央新幹線計画等の中に大手資本の企業進出も、もはや避けられない現実の問題となってきました。このような時に我々は志を同じうするものの組織を通じて自己の研さんを図り、友情をもって、自己の社会的活動を進めなくてはならない時代だと痛感いたします。

この意味で過去に輝かしい業績と全国にいや世界にその組織と友人を持つ青年会議所の設立は真に意義深いものと信じます。

青年会議所は20才から40歳までの次代の担い手たる責任感をもった指導者たらんとする青年の団体です。

青年は人種、国籍、性別、職業、宗教の別なく自由な個人の意志により、青年会議所に入会できます。

現在日本には540余の都市に青年会議所があり、会員は4万人を擁し、全国的に明るく豊かな社会「近代福祉国家」を建設するために、青年の「英知」と「勇氣」と「情熱」を傾けて、さまざまな活動をそれぞれの地域社会に結びつけて運動を展開しています。

全世界に及ぶこの青年会議所運動の中樞は、国際青年会議所です。

現在82ヶ国40万人が国際的連携をもって活動しています。

青年会議所の事業は、目標は「社会と人間の開発」です。その具体的な事業として我々は市民社会の一員として市民の共感を求め、社会開発計画による日常活動を展開し自由を基盤とした民主的集団能力の開発をおしすすめていかなければなりません。

青年会議所には創立から現在に至るまでこの運動を支える三原則があります。即ち「修練」「友情」「奉仕」であります。この三つの柱を中心に、よりよい豊かな社会、住みよい地域社会づくり、さらに日本の独立と民主主義を守り自由経済体制の確立による「近代福祉国家」を創りだすため、市民運動の先頭にたって進む団体、それが青年会議所です。

我々青年は多忙であります。時間的制約があります。又経済的基盤も貧弱です。しかし我々は今ここで広く目を全国にいや全世界に向け、自己の修練と広い友情を育成しなくては将来に明るい希望は望めません。

青年会議所は多忙でもいい、暇がなくてもいい、唯この地域を愛し将来に大きな夢と希望と情熱をもった、青年の集りにしたいと考えます。

諸兄の力強い参加を希望いたします。

1973年11月20日

# 創立宣言文

山梨県における政治経済の中心地として古くから栄え由緒ある史跡や歴史の物語る文教の街わが山梨市にこのたび青年会議所（J C）が設立されるはこびとなりました。

我々はこの山梨市のあすえの発展を願うゆえに、青年としての（英知）と、（勇気）と、（情熱）をかたむけ、指導者訓練を基調とした自己修練に励み、経済、社会、文化等に関する諸問題を調査研究し、その成果を地域社会に及し、さらには日本青年会議所、国際青年会議所の組織を通じて、世界の平和と繁栄に寄与できることを確信して、ここに山梨青年会議所の創立を宣言いたします。

1973年11月27日